

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)

【公開番号】特開 2004-129680 (P2004-129680A)

【公開日】平成 16 年 4 月 30 日 (2004.4.30)

【年通号数】公開・登録公報 2004-017

【出願番号】特願 2002-294360 (P2002-294360)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 3 日 (2004.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

また、遊技盤 13 の遊技領域 13 a の略中央には、図柄を変動（可変）させて図柄組み合わせゲームを行う図柄表示手段としての図柄表示装置 21 が配設されている。前記図柄表示装置 21 には、液晶画面からなる可視表示部 H が設けられており、その可視表示部 H には複数の表示領域 z1, z2, z3 に区分されている。図 10 (c) にて破線で示されるように、本実施形態では、横方向に長い矩形状の可視表示部 H を縦方向に 2 箇所に分けることにより、可視表示部 H に向かって左側の部分が第 1 表示領域 z1、中央の部分が第 2 表示領域 z2、右側の部分が第 3 表示領域 z3 となっている。第 1 表示領域 z1 には、第 1 図柄（いわゆる左図柄）が表示されるようになっている。第 2 表示領域 z2 には、第 2 図柄（いわゆる中図柄）が表示されるようになっている。第 3 表示領域 z3 には、第 3 図柄（いわゆる右図柄）が表示されるようになっている。「図柄の表示」とは、可視表示部 H の表示領域 z1 ~ z3 において遊技者が図柄を識別できる状態で前記図柄が停止表示または変動表示していることである。「停止表示」には、いわゆる、ゆれ変動と言われる一旦停止状態と完全に停止した確定停止状態のいずれの状態も含まれている。

「変動表示」には、通常変動、リーチ変動、再抽選変動などがある。ここで「通常変動」とは、通常遊技状態にあって、図 6 の Pa から Pb までの間にて行われる図柄の変動である。具体的には、リーチ等の特定の図柄組合せとして停止表示するまでの間において、第 1 ~ 第 3 表示領域 z1 ~ z3 にて行われる図柄の変動表示が「通常変動」である。また、「リーチ変動」とは、通常遊技状態にあって、図 6 の Pb から Pc までの間にて行われる図柄の変動である。具体的には、第 1 表示領域 z1 及び第 3 表示領域 z3 にて同じ種類の図柄が停止表示されてリーチの組合せを形成した後に、第 2 表示領域 z2 にて図柄の変動表示を行うことが「リーチ変動」である。加えて「再抽選変動」とは、通常遊技状態にあって、図 6 の Pc から Pd（通常遊技状態の終わり）までの間にて行われる大当りを構成する図柄の変動表示である。具体的には、第 1 ~ 第 3 表示領域 z1 ~ z3 に一旦停止表示された大当りの図柄組合せが、他の種類の図柄によって大当りの図柄組合せとなりうるように再び変動表示を行うことが「再抽選変動」である。

また、本実施形態における第 1 ~ 第 3 図柄は、複数種類（12 種類）の図柄から構成されている。より詳しくは、図 5 に示されるように、「1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9」のアラビア数字を示す 9 種類の図柄と、「10, 11, 12」に対応する 3 種類のキャラクタ図柄（絵柄）とによって構成されている。なお、これらの図柄は互いに共通部分を

部分的に有しているとともに、共通部分毎にグループ化されている。なお、かかる共通部分は、図柄の下方領域、即ち図 5 に示す図柄が破線で囲われている領域内に設けられている。従って、図 5 に示す図柄は、前記破線で囲われていない区域について、非共通部分となっている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 6】

統括 CPU 2 9 a は、かかる制御信号の入力を契機として、図 9 ( b ) に示した演出内容パターンを図 7 及び図 8 に示したフローチャートに従って判定し、制御コマンドを生成する。そして、統括 CPU 2 9 a は、その制御コマンドを各制御基板 2 6 ~ 2 8 に対して出力する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 8】

主制御基板 2 5 は、判定した変動パターンに予め設定された図柄を確定停止させるタイミングにて、図柄停止コマンドを統括制御基板 2 9 に出力し、統括制御基板 2 9 は、該図柄停止コマンドを表示制御基板 2 6 に出力する。